

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 転移性脳腫瘍を契機に発見されたがん症例の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 准教授・齋藤紀彦

【研究の目的】

「転移性脳腫瘍」とは、体の他の部位に発生した原発がんが脳へ転移したものを指します。

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、転移性脳腫瘍のうち、脳転移を初発症状として発見された症例を対象とし、その臨床的特徴や治療戦略の変遷、生存期間を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、転移性脳腫瘍患者さんへのより良い治療法のご提案につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2003年1月1日～2022年12月31日までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、何らかの治療を行った転移性脳腫瘍患者さんのうち、脳転移を初発症状として発見された方(20症例を予定)。

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析し、その臨床的特徴や治療戦略の変遷、生存期間を検討します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：年齢、性別、転移性脳腫瘍及び原発巣発生部位、病理診断、分子診断、腫瘍径、治療内容(手術、化学療法、放射線治療)、合併症、転帰(全生存期間)

対象期間：2003年1月1日～2026年5月31日までの診療録(カルテ)情報を対象とする。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師：齋藤紀彦 役職：准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、代諾者の方も含め下記までご連絡下さい。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。代諾者の方の範囲は配偶者、親族、後見人、その他、原則として本人の意思を代弁できる者としてします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名 准教授・齋藤紀彦

職位・氏名 院内助教・平井 希

電話 03-3468-1251 内線 7435/7984